

◆総括質疑

問 担い手づくり支援住宅建築はいつまで継続するのか。

答 移住人口が増えているので定住促進のため継続していく。

問 通院タクシーを買い物時にも利用できないか。

答 通院を目的としているが、ついでに買い物をすることもできる。

問 学校再建はどのような学校をどこに建設するのか。

答 9年間の義務教育学校を現在の七ヶ宿中学校駐車場付近に建設を予定しているが、財源確保が課題となる。

問 院外薬局への助成支援は。

答 今後も年9百万円で運営を助成していく。



▲ひがし薬局

予算特別委員会

歳入

問 ダム交付金で約2千6百万円の増額の理由は。

答 発電設備の更新で今年度増額となった。

問 地方交付税で約5千万円増額の要因は。

答 人口の減少により、令和7年度の試算は5千万円増となる。

問 基金残高23億7千万円の中で、令和7年度も1億4千万ほど取り崩す説明があったが。

答 なるべく財政調整基金を減らさず、学校を建てるまで5～6億円程は積み立てたい。

歳出

総務費

問 指定金融機関関連の委託料百十万円を支払う理由は。

答 国から指導があり、業務委託料を支払う。

問 町の施設も補修解体などが必要があるのでは。

答 財政も裕福ではないが、「旧道の駅ありや」をなるべく早く解体したい。

民生費

問 少子化対策で、子どもの人数を考慮して予算付けしているのか。

答 前年実績より1名から2名分、妊娠・出産に係る支援金は2名から3名分多めに予算計上している。

衛生費

問 にぎやか家族応援事業の内容は。

答 不妊検査料1回5万円を6回分で2組分のほか、交通費も1人6回分で1回2千円の5名分を予算化している。

問 七ヶ宿斎苑は令和7年度に町単独で補修が必要な状況となっているのか。

答 町単独ではないが、令和6年度に樹枝が煙突や電線にかかり町の作業員が切除。水回り

は仙南広域を介して補修を行っている。

土木費

問 下平線トンネル照明修繕工事はいつ終わるのか。

答 トンネルは4カ所あり、照明の腐食で落下の危険性がある。毎年新たな照明を設置している。

商工費

問 長老湖トイレ浄化槽更新と滑津大滝階段手すり修繕の内容は。

答 長老湖トイレは浄化槽本体から漏水が発生したため合併浄化層を新たに設置し、滑津大滝階段手すりは塗装を行い構造物の劣化防止と景観維持を図る。

問 スキー場管理費の備品購入費について、予算を超える分はまちづくり株式会社で支出するのか。

答 今後増えれば次年度以降に議会に提案したい。

◆予算委員会質疑

問 電気や灯油代の負担が大きく、低所得者や年金生活者への給付支援政策が必要では。

答 状況等を把握しながら、必要があれば対応を考えたい。

問 荒れた農地や農家の高齢化などの課題があるが、令和7年度の農業政策はどのように進めるのか。

答 優良な農地を守り継続性のある農業を目指し、各集落関係では交付金活用を効率よく図りたい。

問 若い世代が安心して出産できる環境整備への考えは。

答 近隣の各首長と連携して国や県に要望し、安心して子育てできる環境を考えて進めていきたい。

農林水産業費

問 町有林も含め、民有林、道端林業など林業振興への考え方と連携は。

答 今年度も、東谷地山を中心に造林、保育事業、下刈り、収入間伐などの事業を行いたい。また事業者と情報交換も含めて連携を図りながら事業を進めたい。



教育費

問 学校建設事業を進めるのに、町民や保護者の意見を聞く柔軟な姿勢が必要ではないか。

答 基本構想がまとまったらパブリックコメントを募集し、基本計画が決まった段階で住民への説明会など意見を求める場を設けたい。

消防費

問 防災無線の本局と中継所を整備する間、既存の防災無線等の稼働は。また、工事の期間は。

答 工期は12月まで、使えない時間は30分から1時間程度。今の機械は予備機として使う。

七ヶ宿ダム休養公園特別会計

問 利水市町や観光客への効果的な情報の発信と適切な環境整備を具体的にどのように行うのか。

答 パンフレットやホームページ、LINEなどで季節ごとに魅力的な情報などを発信し、環境整備は改めて現場でどんなことができるか確認したい。

公井下水道事業会計

問 下水道老朽化の状況と場所は。

答 マンホールポンプ場をカメラで点検し、下水道管内部の防腐塗装に剥がれがあったが、現状では問題ない。場所は境沢、竹ノ沢、峠田岩上、田堀入口の

4箇所。

町営バス特別会計

問 バス運行で利用者に対する接し方に問題があるという件を担当課では承知しているのか。

答 運転に対する情報は2件ある。発進するスピードや停まるタイミングの件とバス停の客を見過ごし、通過してしまった件。

